

国文学研究資料館が「暮鳥会」所蔵 「山村暮鳥自筆資料」のデジタル画像公開 詩歌研究に新たな光を投げかける資料

2025/5/29

国文学研究資料館（以下「国文研」）は、「暮鳥会」より山村暮鳥自筆資料 51 点（計 4017 枚、茨城県立図書館寄託資料）のデジタル画像の提供を受け、2025 年 5 月 26 日に国文研の「国書データベース」にて公開しました（茨城県立図書館寄託 山村暮鳥自筆資料 [近代] 画像一覧 <https://kokusho.nijl.ac.jp/page/list-YMBC.html>）。近代日本の代表的詩人であり、宗教者としても大きな影響を与えた山村暮鳥の自筆資料コレクションは、詩人の実像を鮮明に浮かびあがらせるだけでなく、文学史・宗教史について知るための重要資料を多く含んでいます。

山村暮鳥（1884～1924）は群馬県西群馬郡棟高村（現・高崎市）に生まれました。貧しい境遇のなか、聖三一神学校に学んで日本聖公会の伝道師となり、東北各地をめぐりました。人見東明らの自由詩社に参加して口語自由詩運動にいち早く呼応し、萩原朔太郎、室生犀星らと人魚詩社を設立、大胆な言語実験を含む詩集『聖三稜玻璃』（1915）は、詩壇を騒然とさせます。その後、人道主義的作風の『風は草木にささやいた』（1918）、東洋的な境地とも言われる詩集『雲』（1924）へと様々に詩風を転換させていきます。山村暮鳥の創作活動は、被差別部落を扱った「もぐらもちの歌」（生前未刊行）をはじめとした小説、『鉄の靴』（1923）などの童話、童謡・民謡や伝記、ドストエフスキーの翻訳など幅広い広がりを持ち、人間のあり方への洞察と、貧困や差別など社会へのまなざしに貫かれています。

山村暮鳥の遺品は、山村暮鳥夫人の土田富士氏によって大切に守られ、その後、暮鳥会が保存し、茨城県立図書館に寄託する形で閲覧に供されてきました。同会所蔵の自筆資料（土田富士氏の浄書稿を含む）は詩、小説、説教メモなどを含むコレクションです。今回公開する画像は、同会と鹿児島県立短期大学の竹本寛秋教授が 2014 年から 2017 年にかけて撮影に取り組んだもので、より広く研究と教育に役立てるべく、国文研の「国書データベース」に提供されたものです。2024 年より暮鳥会と国文研との協力・連携のもと進めたデジタル化の取り組みにより、暮鳥の自筆資料のインターネットを通じた検索・閲覧が「いつでも、どこでも、どなたでも、そして無料で」可能になりました。

■ デジタル公開の意義

国書データベースに公開される草稿には、山村暮鳥の詩の推敲過程とともに、彼の詩と宗教者としての思考が連動し、たがいに刺激しあっていた様子をたどることができます。

今回公開される自筆資料は、山村暮鳥が茨城県大洗町に転居した大正九年頃から、その地で没する大正十三年におよぶものです。今回の画像公開によって、それぞれの執筆態度や編集過程を見くらべることもできるようになりました。たとえば生前最後の詩集『雲』の詩がどのような書き換えを経てつむがれ、一冊の詩集をなすべく配列されていたのか、その過程を見て取ることができます。詩選集『穀粒』の原稿からは、激しく詩風を変えた暮鳥も、過去の自作を捨てて顧みなかったわけではなく、その表現を磨いていた痕跡を見て取ることができます。生前未刊行の小説『もぐらもちの歌』は原稿用紙四百八十枚に及ぶ小説ですが、多くの書き換え跡は、完成までの苦闘を示しています。

さらに、今回公開される原稿には、童話・童謡、民謡に関わるものを含み、童謡・童話の黄金期である大正期の一側面を示す資料となっているほか、ボードレール、ドストエフスキー、聖フランチェスコをテーマとした評論や伝記などは、明治・大正期の文学・思想・宗教を考える豊かな材料を提供するものと言えるでしょう。

中学校や高校、大学の教室でも、暮鳥の詩稿をスマートフォンやPCの画面で読み、詩人の苦心のあとをたどることもできるようになりました。自筆草稿を誰もが閲覧できるようになったことで、暮鳥の実像をより正確に伝えることができるようになり、文学の研究・教育はもちろん、さまざまな分野における探究の可能性が広がると考えます。

なお今回の画像公開は、国文研の本年度事業「近代文献草稿・原稿類に関する所在目録調査と研究」の一環であり、すでに公開している「島尾敏雄特別資料」（かごしま近代文学館蔵）・「森田思軒自筆原稿資料」（笠岡市教育委員会管理）・「中原中也自筆資料」（中原中也記念館蔵）・「武者小路実篤自筆資料」（武者小路実篤記念館）・「上野英信自筆資料」（福岡市立総合図書館）とともに見ることで、近代文学における「自筆資料」の具体的な姿を知ることができます。

本件に関するお問い合わせ

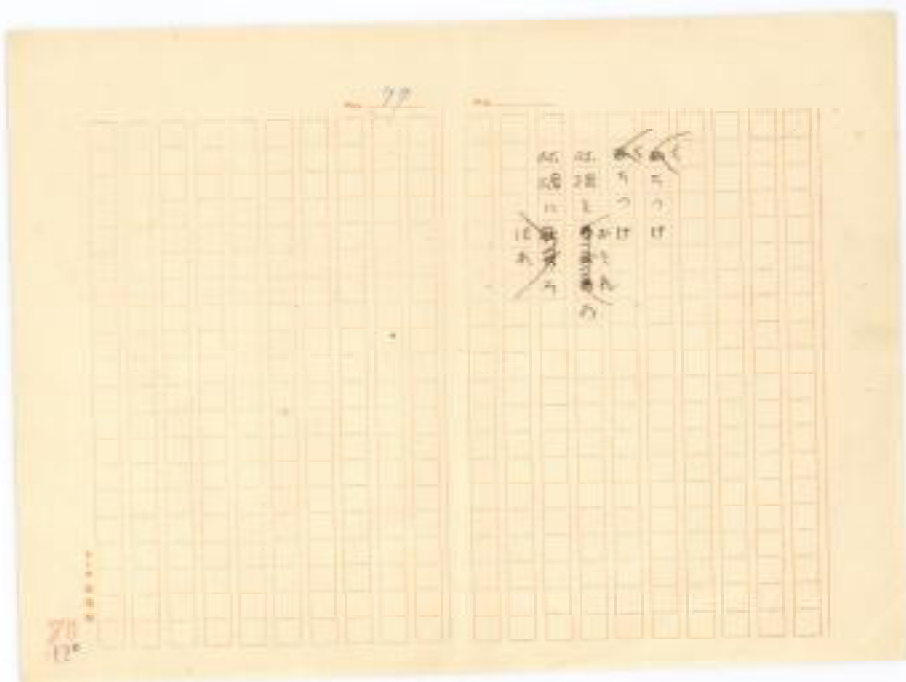
・国文学研究資料館 管理部学術情報課 社会連携係

E-mail: jigyoku@nijl.ac.jp / TEL: 050-5533-2910 / FAX: 042-526-8604

・暮鳥会

E-mail: info@bocho.jpn.org

■「国書データベース」で公開される山村暮鳥自筆資料の例



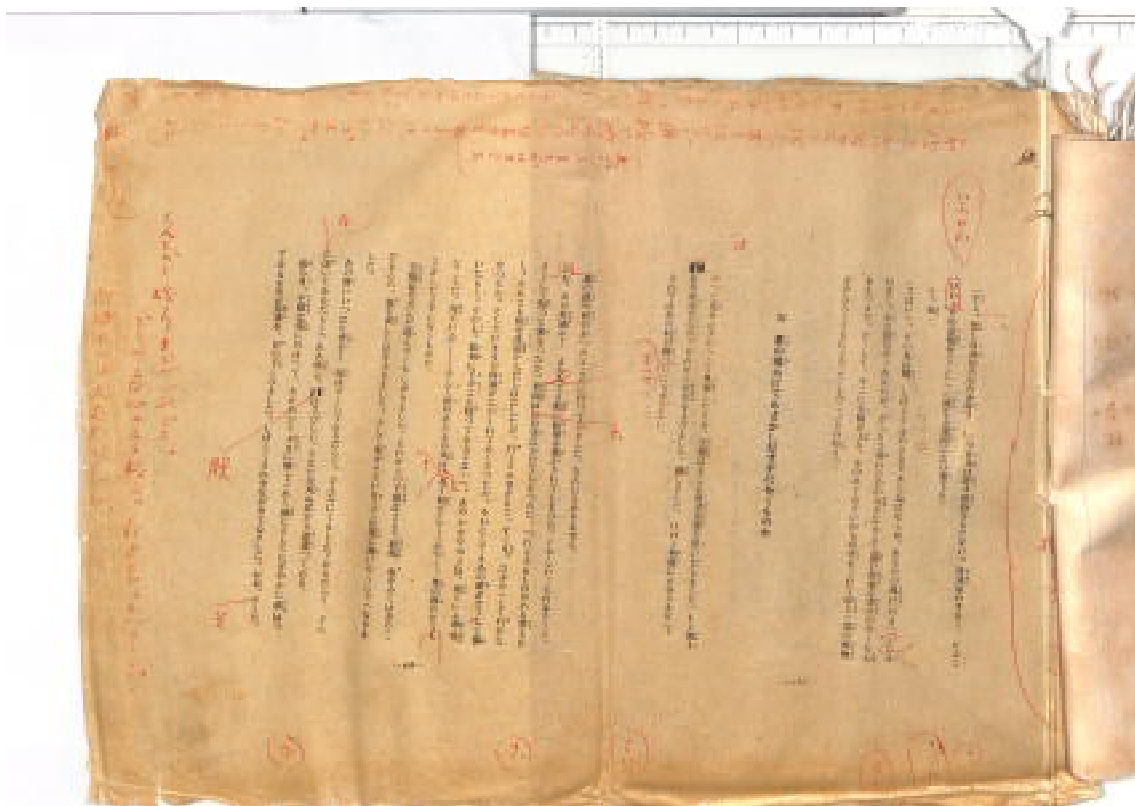
「原稿：雲」「おちつけ / おちつけ / 林檎をながめろ / 林檎に恥ぢろ」が「くちつけ / くちつけ / 林檎をおそれろ / 林檎にほれろ」と書き換えられている。



「原稿：穀粒」雑誌紙面を貼り付けた上で書き込みがあり、語句や句読点の細かな調整がなされている。



「原稿：もぐらもちの歌 1」



「原稿、校正刷：鉄の靴 A」